

## 演題

### 院内感染対策への細菌検査室の取組みと成果について

県立日南病院臨床検査科

酒井民子 山口佳織 中村和俊

山口博史 木佐貫篤

#### 【はじめに】

近年院内感染対策が重視され、当院でも感染対策委員会や ICT (感染対策チーム) による活発な活動が行われている。細菌検査室は感染制御に必要な情報提供部門であり、タイムリーなレスポンスが要求される。

現在、院内感染対策のために当細菌検査室が行なっている取組みと今後の課題について報告する。

#### 【感染対策への取組み】

##### 1. 院内感染対策委員会 (月 1 回)

科長と細菌検査担当者が出席し、感染症月報報告を行なっている。

##### 2. ICT (月 1 回)

ミーティングと MRSA 保有患者ラウンドを主な活動としており検査科は患者リスト作成や問題となる感染症患者の情報提供を行なっている。

##### 3. 日常検査の効率化・迅速化

院内迅速検査の充実、夜間休日時の抗酸菌・グラム染色も実施している。

##### 4. 情報提供

検査室が発行する感染症週報では、裏面に院内感染に関する様々な話題を掲載して職員への情報提供につとめている。

##### 5. 感染関連の研究サポート

看護部の手洗い研究のサポートを行なった。

#### 【成果と今後の課題】

今年 5 月の電子カルテ導入により結果報告が早くなり中間報告体制も充実した。また時間外の迅速検査項目充実を図り臨床側のニーズに応えた。感染症裏面は各部門に好評である。今後、休日夜間時の血液培養陽性検体等への緊急対応が課題である。

#### 【まとめ】

院内感染対策において細菌検査室は中心的な役割を担っており、今後臨床支援への期待が求められると考えられる。そのためには、検査科内での問題意識の共有、他職種との日頃のコミュニケーションが大事であるとする。